



春休み体験教室 参加者募集

総合学習センターでは、恒例の春休み体験教室を開催いたします。
対象は、市内小中学校の児童生徒の皆さんです。さまざまな体験や学校、学年を超えた仲間づくりを図る絶好の機会です。くわしくは、各学校を通して配布されるチラシをご覧ください。
■実施期間：3月21日(金)～3月29日(土)
(※計画中につき、内容等変更する場合があります)



冬

こそ新たなチャレンジを

総合学習センター冬期趣味講座スタート

飯山市総合学習センターでは、今年度新たな試みとして「総合学習センター冬期趣味講座」を計画したところ、募集した全ての講座が定員に達し、多くの方が新たな挑戦をスタートしました。

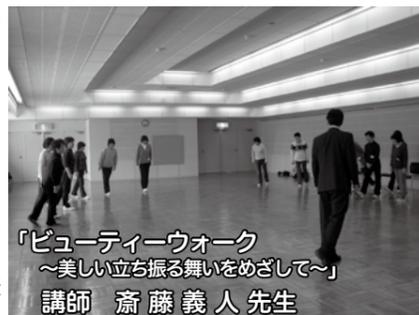


「デジカメは友だち」講師 藤巻博文 先生

講座は「はおつて巻いて簡単マフラー&ストリッパ」、「アロマセラピーでリラックス」、「デジカメは友達」、「うさぎのおひなさまをつくろう」、「ビューティーウォークく美しい立ち振る舞いをめざして」、「お菓子づくり入門 しあわせスイーツ」の6種類で、3回



「アロマセラピーでリラックス」講師 三島英子 先生



「ビューティーウォーク～美しい立ち振る舞いをめざして～」講師 斎藤義人 先生

から6回のコースで開講しました。初めての冬期間の趣味講座であり、参加者も少ないと予想されましたが、「冬だからこそ参加できた」との声もきかれ、学ぶ心に季節は関係ありませんでした。

教室名	日時	内容	対象者	場所	参加費	定員
作ってすべって あそぶ たけ 遊ぼう竹スキー!	3/21(金) AM9:30～12:00	竹でスキーを作ってみなで滑って遊ぼう!すべれるようになって友だちに自慢しよう	小1以上	飯山市 ふるさと館	無料	20
夢はJリーガー! きょうしつ 「フットサル教室」	3/21(金) PM1:30～4:00	室内サッカーとも呼ばれている「フットサル」。Jリーガー気分できっこよくシュートを決めよう!!	小3以上	外様 公民館	無料	20
ふしぎ? てじなきょうしつ 手品教室	3/22(土) AM9:30～11:30	手品を見るのって楽しいよね。そこで科学原理を使った簡単な科学手品を見るよ。よく見ておぼえてお家でもやってみよう	小1以上	飯山市 公民館	無料	30
スノーシューをはいて はる もり 春の森に出かけよう	3/24(月) AM9:30～PM3:00	冬芽や雪原の美しい風景を観察しよう。小動物にも出会えるかもね。ランチタイムは雪のテンプルで	小1以上 (1・2年生は保護者同伴)	斑尾高原	500円 (以外料金含)	30
わし 和紙のランプシェード	3/25(火) AM9:30～11:30	和紙を使って簡単にランプを作ってみよう。お部屋のインテリアにもいいかも	小3以上	飯山市 公民館	700円	20
かくれんぼ絵本 えほん をつくろう	3/25(火) PM1:30～4:00	「どっちの手～にはいつてる?」の折り紙バージョンだよ。簡単な方法で折り紙を折って何かを隠し、どこに隠したかを当てっこをして遊ぶ絵本を作るよ	小1以上 (低学年向け)	市立飯山 図書館	無料	20
みんなだいすき フルーツロールケーキ	3/26(水) AM9:30～12:00	みんなで楽しくロールケーキをつくっちゃおう。生クリームやフルーツをはさんだりして。もう気分はすっかりパティシエ!	小3以上	飯山市 公民館	250円	20
ほんばちゅうごく にく 本場中国の肉まん をつくろう	3/27(木) AM9:30～12:00	ふっくらほかほか肉まん。思ったより簡単に作れちゃうよ!みんな挑戦してみてね	小3以上	飯山市 公民館	200円	20
れっつ! じょうもんたんけんたい 縄文体験隊	3/28(金) PM1:30～3:30	縄文時代の人たちはどのような生活をしていたのさ?みんなで縄文時代へタイムスリップ!!	小3以上	飯山市 ふるさと館	無料	20
まほう 魔法のせっけん作り	3/29(土) AM9:30～11:30	使ったあとの油からせっけんを作るよ。頑固な運動靴の汚れもこの魔法のせっけんピッカピカ!環境についてのお話もあるよ	小1以上 (1・2年生は保護者同伴)	飯山市 公民館	無料	30

★問合せ先 総合学習センター 飯山市公民館 TEL 6 2 - 3 3 4 2

箱 人 学習シリーズ

「人と人のかかわりを大切にしたい」

市立常盤保育園 園長 服部富美子

最近、人と人のかかわりに関して、こんなこともあるのかという事例を雑誌で読んだり、人から聞いたりしました。それは、オッパイをあげながらメール交換をする若い母親のこと、家族がいるのに一人で食事をとることにこだわる子ども、「忙しくて子どももなかと遊んだことがない」という父親の嘆き、「おらあ、いらずつ子だったから」とさびしくつぶやく老女の話です。自分が家族から愛されていると思えずに育った人は、まわりの人の意見や気持ちを受け止めることがどうしても苦手になり、自己中心的になりがちです。

私はその人が回りから優しく親切にされた時に、相手の人に素直に「ありがとう」という気持ちを表せるか否かの場面に何度か出会ってききました。その時、いつも思い浮かぶのは、ある講演会で「人はまわりから大事にされ愛されて育てば、人を大事にできるし、その反対の育ち方をした人は、人を愛することは難しいものだ」というお話です。私は、人間関係の基は、まずは家庭の中の親子関係が大切だと思っております。家庭ではごくあたり前のことですが、赤ちゃんの時には身の回りの世話をしながら笑顔で話しかけることで、おしめを替えるときの軽い運動を取り入れたスキンシップや言葉かけが必要ですよ。おしゃべりができるようになったら、じっくり聞いてあげ相槌をうってあげるなどを繰り返してあげてください。そこから話したい気持ちが育ち、言葉のやりとりが楽しくなるのです。そして、自分の思いを伝えたり相手の話を聞くという気持ちが育まれていくのです。

幼児期に親と一緒に取り組んだ楽しい思い出は、子ども期の成長やその後の人生の大きな支えになるといわれます。毎日の生活の中でほんのわずかな時間でも、工夫して子どもと向き合う時間を生み出し、親子で楽しさや喜びを共有できる場を作れたらいいですね。

私は家族のふれ合いの中で心地よさをより多く体験することで気持ちも安定し、そこから意欲や向上心、まわりの人への信頼感などが育ちが期待できると考えます。

子どもたちには「自分のことを心配してくれている人がいる」「自分を大切に思ってくれている人がいる」と思えるような人とかかわりあひの中で育つことが大切だと痛感しています。私たち大人はまわりの子どもたちに対し、地域の子どもとしてできる支援を惜しまずに、共に子どもが育つ環境作りを進めていきたいものですね。